

湯田ダム水源地見学会開催！

湯田ダム水源地見学会が、7月30日（火）に開催されました。この見学会は、ダムや森林などの水資源に理解を深めてもらう「森と湖に親しむ旬間」に合わせた行事として毎年開催しています。

今回は西和賀町の湯田小学校と沢内小学校の3年生合わせて40人が参加しました。



始めに県企業局及び東北水力地熱(株)が運営する仙人・和賀川発電所にて発電の仕組みを勉強しました。普段入ることのない発電機室や配電盤室も見学できました。

湯田ダムでは、間近でダムから放流する所を見学しました。その後、エレベータを使いダム内部の底まで約80メートル降り、361段の階段を登って地上に出てきました。児童達はまだまだ元気です。

午後は錦秋湖湖畔公園に移動し、安全講習を行った後ゴムボートや魚採りなどの親水体験を楽しみました。

自然に触れあいながら水源地の役割を学び、児童達にとってもよい夏休みの思い出になったのではないのでしょうか。



<発電所見学>

ふむふむ、なるほど～！



<湯田ダム放流の様子>

音が大きいなー！



<出航前の安全講習>

ここまでおいで～♪



<親水体験>

上手に漕げるかな～？



ダム湖活用に関する懇談会

ダム湖活用懇談会

8月5日（月）、ダム湖活用に関する初の懇談会が西和賀町観光協会主催のもと行われました。

湯田ダムは来年、『完成から50年』の節目を迎えます。これまで西和賀町の観光資源として大きな役割を果たしてきたダム湖ではありますが、貯砂ダムや湖畔ステージ等周辺施設を含めて、今後の更なる活用を目指し、現状の課題や意見交換等を行いました。

学生演劇事業

風呂美術大学 / プレイ・タウン2013

《温泉の町》西和賀町では、演劇に携わる全国の学生に町内の旅館に長期滞在することで演劇に没頭できる環境を提供し、町民との関わりを持ちながら制作活動を続けてもらうという「学生演劇事業」を平成23年から始めました。

今回は芸術チームと演劇チームに分かれ、全国から約30人が参加しました。芸術チームは『風呂美術大学』と題したユニークな企画展を開催。湯田ダムの流木を使って灯籠やライティングオブジェを制作し、各旅館のお風呂場等を彩りました。一方演劇チームは『プレイ・タウン2013』をテーマに合宿を展開。銀河ホールにて上演作品を制作し、練習を重ねました。

8月10日(土)には銀河ホールで合宿の成果発表会が行われた後、湯田ダム湖畔ステージにて灯籠流しが行われました。通常は廃棄物として処理される流木がアートとして生まれ変わり、湖面を美しく照らしました。



流木を使った作品



浴槽清掃も行いました



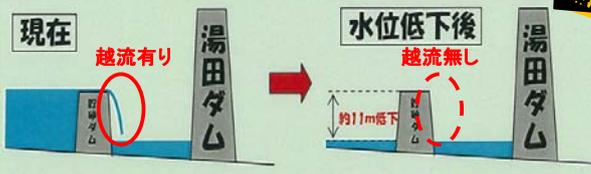
《学生のみなさん、お疲れ様でした！》

貯砂ダム水位低下のおしらせ

貯砂ダムに設置されている「放流ゲート点検整備」のため貯砂ダムの水位低下（放水）を行います。そのため期間中は、水のカーテンを見ることが出来ません。何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

期間：平成25年9月2日(月)～13日(金)頃までの12日間

※但し、雨の状況などにより期間が延びることもあります。



湯田ダムの仲間たち



《湿原の宝石》といわれる
オオルリハムシ



ミヤマクワガタ軍団

アフラセミ



発行

北上川ダム統管理事務所 湯田ダム管理支所
〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15
TEL：0197-74-2011 FAX：0197-74-2013